

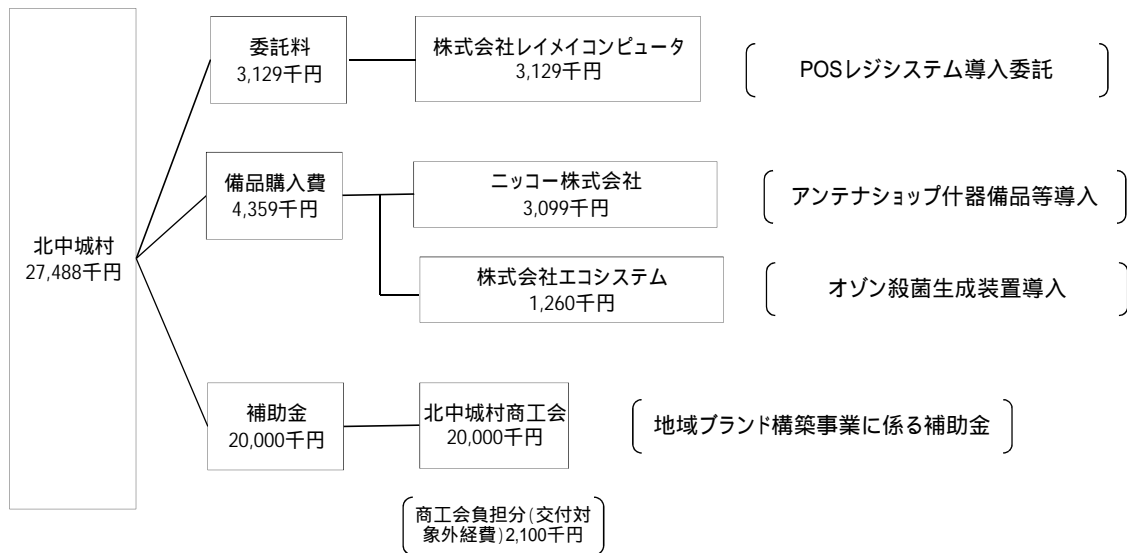
市町村名		北中城村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-	地域ブランド構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
	担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成	
事業内容	産業振興、担い手育成を図ることを目指し、農水産物資源を活かし付加価値を高めるための北中城村独自のブランド化に向けた商品開発を行い、商品選定委員会で選定された特産品の販路拡大や県外物産フェアへの出店を行う事業。25年度は商品・ロゴデザインの開発と地域特産品販売所の建設を主に取り組んだ。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	19,920	-	19,800		
		(b)予算現額	35,152	-	29,700		
		(c)増減額(b-a)	15,232	-	9,900		
		(d)繰越額	-	25,232	-		
		A.計(b+d)	35,152	25,232	29,700		
	B.執行済額		9,919	25,007	27,488		
	うち交付金充当額		7,935		21,990		
	次年度繰越額		25,232				
	執行率(%) (B/A)		28.2%	99.1%	92.6%		
予算の状況の説明		不要額2,212千円については、委託費、備品購入費の入札執行残であり、計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度(5-)	25年度	26年度(4-)	27年度(4-)	
	ブランディング推進委員会開催数:5回	目標	(委員会:4回)	(委員会:5回)	()	()	
		実績	全体委員会:4回 ワーキング委員会3回	委員会:4回 作業部会12回			
	県外商談・PR活動回数:4回	目標	(PR活動:2回)	(PR活動4回)	()	()	
		実績	PR活動:県外2回 県内先進地視察1回	PR活動:県外3回、 県内1回			
	新商品の開発3アイテム以上	目標	()	(新商品:3品)	()	()	
		実績	-	新商品:7品			
	アンテナショップ什器類(19品目)の整備	目標	()	(什器類:19品目)	()	()	
		実績	-	什器類:19品目			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 目標であったブランディング委員会5回は4回とし、1回は本事業の観光の部分について琉球大学と意見交換会に変更。新商品の開発については、12回の作業部会を開催し、目標3商品に対して7商品を開発できた。 PR活動については福岡商工会議所の主催する観光マッチング事業へ参加し、県外4社、海外2社の旅行社と商談を実施。PRブースにおいては北中城村をDVDで紹介した。物産フェアについては開発した商品を沖縄の産業まつり(奥武山公園)、ニッポン全国物産展(池袋サンシャインシティ)で販売し、売り上げ目標40万に対し、84.6万円と目標値の2倍を達成した。 アンテナショップにおける、什器類19品目の導入について、目標どおり設置することができ、全体として、活動目標のほとんどを達成することができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度(5-)	25年度	26年度(4-)	目標値(30年度)
	販路拡大の為の県外物産フェア参加(10品目販売モニター調査、販売額目標40万円)	目標	()	()	(物産フェア:40万円 10品目販売モニター調査)	()	()
		実績		-	(物産フェア:84.6万円 8品目販売モニター調査)		
	量販店等への取引契約(チェーン展開する店舗1以上)	目標	()	()	(契約:1社)	()	()
		実績		-	(契約:0社)		
	新商品の開発3アイテム以上	目標	()	()	(新商品:3品)	()	()
		実績		-	新商品:7品		
	アンテナショップ什器類(19品目)の整備	目標	()	()	(什器:19品目)	()	()
		実績		-	什器:19品目		
	[参考指標]	北中城ブランド商品販売額(食品類)(千円)	目標	()	()	600	(1,200)
		実績		-	205	1,546	
[参考指標]	北中城ブランド商品販売額(雑貨類)(千円)	目標	()	()	100	(200)	(800)
		実績		-	10	0	
進捗状況説明	北中城ブランド商品、肉まんじゅう・アーサスティック・クッキー・サブレ・パイ・ケーキサレの食品類6品、オリジナルガラス玉の雑貨類1品の計7品を開発し、平成25年度下半期より販売を開始した。産業まつり及び全国物産展において販促活動を行ったが、新規商品より各店舗のオリジナル製品が売上を上げる形となり、結果新規商品の販売状況は205千円に留まった。商品開発と平行しブランディング知名度向上のため統一ブランドロゴを作成し、普及を図った。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 品目あたりの売上目標の設定が甘く全開発品目7品目中達成できたのは1品目に留まった。事業所側及び指導側(商工会)共に商品開発に伴うスキル不足により、当初想定していた開発期間・売上の想定の見通しが甘く、当初目標を達成できていない。 大手量販店等との取引を当初目標としていたが、事業所側の製造能力が追いつかず、量販店側が求めるロット(数量)を用意できない状況であった。また本土企業への輸送コストによる価格高騰、輸送日数による賞味期限の問題が浮き彫りとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 一律に目標設定させるのではなく、製品毎に細かく調整をしていく必要がある。開発期間等は事業者側の従来事業の負担にならないよう注意をしながらかつスケジュール通り進められるよう指導を進めていく。 無理に本土大手量販店との取引に固執せず、県内でお土産品としての販路確保を進めていく事で事業者側が利益を確保しながら製造・販売ができるよう指導していく。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 製品毎の売上状況を継続的に把握し、改善改良の指導を行っていくことで各製品が売上目標を達成できるよう指導していく。事業者側の過度な負担となるような製品は止むを得ない場合製造を中止する事もある。 業者間の調整(特にパッケージ化等が始めての事業者への指導)を積極的に行っていく。将来的にはパッケージ製作支援のテンプレート化まで行いたい。 大手量販店との取引は魅力的ではあるが、特に事業者側の製造能力等を正しく見極めることで分不相応な契約等に至らぬよう注視していく。 ブランド力を高めるため、新聞・雑誌等のマスメディア系において露出を増やしていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,588	27,488	21,990	5,498	2,100



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 各産業分野が加入する商工会自らが地域活性化に手を挙げており、商工会を中心とすることで地域事業者が安心して事業に関わることができることから、活性化に対する補助とした。 予算等は計画に沿って支出されており、規模も見合っている。 受益者負担も10%以上あり、妥当である。 用途も目的に即しており、必要なものとなっている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	